

事務事業名	学校図書活動充実事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課		
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	義務教育グループ	課長名	伊藤 慶	
	施策名	〈26〉学校教育の充実		担当者名	大谷美里		電話番号	0854-40-1072 (内線) 2282
	目的対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。				
	基本事業	〈076〉すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進		予算科目	0:150:0:2	大事業名	大事業名	
目的対象	児童・生徒	意図	学習意欲が高まる。				中事業名	中事業名
							学校図書活動充実事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
児童生徒 教職員	読書をする時間の拡大
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H21 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	島根県が実施する「学校司書等により学びのサポート事業」により、市内小中学校に学校司書 12校、学校図書館支援員 10校 に配置し、人がいる図書館づくりを行う。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・市内小中学校に学校司書・学校図書館支援員を配置。 ・学校図書購入	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 学校からの要望をもとに、学校司書配置校を増やしている。 令和3年度より県の事業が、学びのサポート事業に変更され、学校司書に求められる役割も増えている。 令和4年度より学校司書配置校を1日5時間から6時間とし、年間200時間増を図った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
一人あたりの年間平均貸し出し冊数(小学校)	冊	72.9	66.3	66.1	68.0
一人あたりの年間平均貸し出し冊数(中学校)	冊	15.4	14.0	11.6	13.0

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)		② コストの推移		単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
報酬	15,442千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
職員手当等	3,206千円		県支出金	千円	6,527	8,158	8,062	8,062
報償費	2,109千円		地方債	千円				
旅費	692千円		その他	千円	64	14,459	16,931	20,496
備品購入費	5,483千円		一般財源	千円	12,351		1,939	
計	26,932千円		事業費計	千円	18,942	22,617	26,932	28,558

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	図書館担当教員の負担軽減になっている。 図書館の図書の更新・増書が行われている。
② 事業実施するうえでの課題	小学校では、学校図書館を全教科を通じて利用される傾向がある一方で、中学校は国語科・社会科に偏っている。 学校図書館支援員配置校からは、学校司書の配置を要望されている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	学校司書配置校を増やす。または、学校図書館支援員配置校の配置時間数の増を図る。